



## 嶺南土砂活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	高規格道路課	課長名	小川 裕樹	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R21 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ] ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線敦賀以西、舞鶴若狭自動車道4車線化の工事から発生する土砂の処分先が不足						舞鶴若狭自動車道4車線化の工事からは約370万㎡の建設発生土が見込まれるが、受入可能性の高い箇所は約190万㎡にとどまる						
[事業目的]												
北陸新幹線(敦賀・新大阪間)建設事業や舞鶴若狭自動車道4車線化事業が円滑に進むよう、課題となっている土砂を活用するために、市町が実施する土砂活用事業に対して支援することで、高速交通体系の整備を推進し、ひいては嶺南地域の地域振興に寄与する。												
[事業内容]												
(1)ストックヤード(残土処分場)整備事業調査費補助 [24,000千円] 圃場整備予定箇所などにおけるストックヤード整備構想において、市町が実現可能性を判断するのに必要な概算事業費算定等の調査に要する費用を、県が補助する。 【実施主体】美浜町、若狭町 【補助率】県1/2 【R7要求箇所】美浜町興道寺地区、若狭町瓜生北部地区												
(2)土砂活用事業構想検討調査 [令和8年度以降要求] 県において、沿線市町と連携して、市場性のある事業構想を検討するとともに、今後必要となる手続きを整理し、測量や概略設計等を行うなど、土砂活用事業の構想を具体化するための調査を実施する。 【実施主体】県 【負担率】県10/10 【想定箇所】小浜市勢浜など												
[受益者] 北陸新幹線、舞鶴若狭自動車道利用者						[想定される受益者数] 約6,800台/日						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・市町において、受入候補地における地元交渉や上物施設の基本コンセプト立案などを実施し、当事業を推進				他県の状況		・同種事業なし(受入地確保見込みであるため)				

## 嶺南土砂活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	高規格道路課	課長名	小川 裕樹				
事業主体	県、市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R21 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			3 年
補助率	1/2											3 年			3 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	24,000					24,000									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				-	20,000	24,000	市町から要望に基づき予算要求している								
2月現計予算額の推移				33,907	28,000										
決算額の推移				30,260											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	受入可能土量の確保(累計) (目標) 実績			(13) 55	(64) 105	(124)	(230)	(370)	当面、舞若道全線4車線化の工事から発生すると想定される約370万㎡(県推計)の確保を目指す						
活動指標	事業実施箇所数(累計) (目標) 実績			(4) 3	(5) 6	(7)	(11)	(16)							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
関係市町との調整の結果、事業実施箇所数は6箇所となり活動指標を達成した。また、市町が行うストックヤード整備事業の事業化により、成果指標を達成した。				令和6年度に実施した3箇所のストックヤード整備事業の実現可能性を高めるため、今後は条件等の具体化を進め、成果指標である「受入可能土量の確保」へとつなげていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					